

2018年度業務の成果と課題

1 マネジメント業務

(1) ねらい

スタッフが働きやすい環境を整え、運用することで、顧客満足度を高める。

(2) 2018年度成果と課題

①成果

☆中期計画を意識した事業展開を行った。

☆標準化したアンケートを3年間継続して実施し、3年間の変容の確認ができた。

②課題

★研修の主体的計画を促すこと。

2 活用促進業務

(1) ねらい

宇宙への興味・関心が薄い層に様々な切り口で天文台の魅力を発信し、施設の活用を促す。

(2) 2018年度成果と課題

①成果

☆中期目標の達成

☆震災特別番組の制作・投映により、全国的に施設の認知度が高まった

②課題

★イベントの運用ができるスタッフの育成

3 観測研究業務

(1) ねらい

市民の観測技術の向上を図る活動を行い、天文学に深く関わる人材育成を行う。更には、国内外の関係機関と連携を行い、その成果を公開することで天文学の発展に寄与する。

(2) 2018年度成果と課題

①成果

☆分光観測における基礎的な天体を収集できた

②課題

★観測ができるスタッフの増員・育成

4 教育支援業務**4-1 学校教育業務**

(1) ねらい

幼稚園・保育所・小学校・中学校・高等学校・特別支援学校・視覚支援学校・聴覚支援学校における天文分野の教育を、より専門的、効果的に行うことにより、学校教育の支援を行うとともに天文学の普及啓発に寄与する。

(2) 2018 年度成果と課題

①成果

☆各学習投映担当者の増員

☆プラネタリウムやワークショップでの視覚障害者向けコンテンツの開発

②課題

★学習プログラムの見直し

4-2 生涯学習支援業務

(1) ねらい

「市民天文台」として宇宙・天文に興味を持つ市民はもとより、多くの市民が自身の興味や得意な分野において自発的・積極的な活動をできる場を提供する。そのことにより、「宇宙の広場」として市民の自己実現を支援する。

(2) 2018 年度成果と課題

①成果

☆長期インターンシップの運用ができたこと。

☆スタッフサポーターの活動が自主的になっていること。

②課題

★本業務の主管の育成

5 天文普及業務

5-1 展示業務

(1) ねらい

宇宙や科学を身近なものとして捉えられるような活動を行い、市民の宇宙に関する興味・関心を喚起させ、市民の学習支援を行う。更には、天文学に興味の深い市民への支援も行い、自己研鑽の場を提供する。

(2) 2018 年度成果と課題

①成果

☆展示更新～運用開始の最初の1年で、不具合箇所や今後の対応事項の洗出しを行った

☆展示ツアーのテーマ数が中期目標の設定数を上回った

②課題

★新規ワークショップの開発と実施

★次期展示更新へ向けてのデータ整理、情報収集

5-2 プラネタリウム運営業務

(1) ねらい

楽しみながら宇宙及び科学に触れることができる機会を提供し、宇宙や科学に関する興味・関心を喚起させ、学習支援を行う。また、安らぎや感動を得られるような空間演出を行い、余暇活

用機会も提供する。

(2) 2018 年度成果と課題

①成果

☆市民 B を対象としたプログラムを制作・実施し、中期目標を達成した

②課題

★「星空の時間」放映者およびプラネタリウムの制作ができるスタッフの育成

5-3 望遠鏡業務

(1) ねらい

- 主としてひとみ望遠鏡を使用して、様々な天体を観察できる機会を提供し、天体に関する興味・関心を引き出し、天文学の普及振興と市民の天文知識向上に寄与する。
- 大型望遠鏡の見学機会を設け、大型望遠鏡の構造や仕組み、能力、観測方法等を説明し、市民の宇宙や科学に関する興味・関心を喚起させ、市民の学習支援を行う。
- 宇宙や科学を身近なものとして捉えられるような活動を行い、市民の宇宙に関する興味・関心を喚起させ、市民の学習支援を行う。更には、天文学に興味の深い市民への支援も行い、自己研鑽の場の提供を行う。
- 天体観望会を開催する市民及び教員等のために、観測機材の貸出しを行い、市民の天文学普及振興に寄与する。

(2) 2018 年度成果と課題

①成果

☆火星大接近に合わせて、運営開始から初めて臨時観望会を行ったが、大きな問題なく実施できたこと。

☆1 月から 3 月のひとみ望遠鏡修繕工事に合わせて、新たなプログラムを 2 件計画し、実施できたこと。これにより天文台スタッフの望遠鏡操作のスキルの向上もみられたこと。

②課題

★市民の興味関心にあわせた観望プログラムを更に検討すること

5-4 アウトリーチ業務

(1) ねらい

- 市民が宇宙や天体などをより身近なものとして捉え、天文学に興味関心を抱く機会や、天文学の知識を更に深める機会を提供することにより、天文学の普及振興に寄与する。
- 主として移動天文車積載の望遠鏡を使用して、様々な天体を観察できる機会を提供し、天体に関する興味・関心を引き出し、天文学の普及振興と市民の天文知識向上に寄与する。

(2) 2018 年度成果と課題

①成果

☆要求水準の 60 件を満たすことができた

☆公募枠ではレポートと新規の団体の両方から継続的に申込がある

②課題

★出勤可能なスタッフの育成

★雨天時プログラムの充実

5-5 大学・関係機関連携業務

(1) ねらい

- 天文やその他の様々な専門分野の切り口からの話題提供により、市民の星や宇宙への興味関心を高める。
- 最新の天文学の情報を分かりやすく提供する。

(2) 2018 年度成果と課題

①成果

☆諸大学・関係機関と連携し、様々なアプローチで天文の話題を提供できた。

☆展示室ポスターや講演会などで最新の天文学を提供できた。

②課題

- ★講座・講演会に対する要望や満足度の把握のためアンケートのとり方を検討したい。
- ★連携する関係機関を増やしたい、連携の強化、幅を広げる

5-6 天文情報提供業務

(1) ねらい

- 最新の天文学の情報を分かりやすく提供する。
- 市民の天文に関する相談に応じ、適切なアドバイスを行う。
- 時宜をとらえた天文事象の資料や情報を提供する。

(2) 2018 年度成果と課題

①成果

☆火星大接近に向けて展示室や観望会待機室、web ページにて特設コーナーを設け、最新の情報や火星について提供できた。

☆夏休み中の天文相談対応として展示物を利用したワークシートを 3 テーマ制作し、約 1 ヶ月で 130 名程度の利用があった。

②課題

★市民 B 向けの情報とは？ を明確にすること

6 資料収集業務

(1) ねらい

- 天文学的に貴重な天体や現象を記録する
- 博物館として、天体そのものや天体現象を説明、明らかにする
- 世間からの注目に対応する

(2) 2018 年度成果と課題

①成果

☆火星接近を計画的に記録できたこと。

②課題

★スタッフの観察技術の向上

7 メディア制作業務

(1) ねらい

本施設のヴィジュアルアイデンティティに基づき、各業務で発生する制作物を円滑に制作する。

(2) 2018 年度成果と課題

①成果

これまで同様随時の制作対応に加え、新商品の発売（火星・光るアースキャンデー等）、台内掲示の VI・名刺に解説テキストの挿入、新 VI の制作及び関連するサポーター特典グッズの制作等を行った。

また、仙台市天文台制作震災関連番組のプラネタリウムコンテンツ制作の一部として DVD 制作等も行った。

海外科学館研修等、他館のミッションや科学をアウトプットする為のデザインを知ること、今後の仙台市天文台のブランディングや「伝わるデザイン」について改めて考えるきっかけを設けることができた。

②課題

制作対応のフットワークを軽くし、より良いものをより早く制作することが課題である。

8 広報業務

(1) ねらい

本施設の業務内容や利用方法を広報・周知することにより、本施設の利用促進及びアイデンティティーの浸透を図る。

(2) 2018 年度成果と課題

①成果

☆ウェブサイトをリニューアルできた（スマホ対応化）。

☆ソラリスト・リーフレットをリニューアルできた。

☆中期目標の達成。

②課題

★情報提供方法のルーチン化

★情報提供先の見直しと広報効果測定

9 窓口業務

(1) ねらい

来館者の施設利用が円滑に行われるよう、施設の内容・行事・スケジュール等を正確に把握し案内する。また、団体利用の予約受付、拾得物・遺失物の管理、迷子・急病人の対応等を的確に行い、来館者に安心して施設を利用していただけるようにする。2017-2019年度の3年間は特に、内部研修の機会を増やし総務・受付スタッフの天文知識の向上を目指す。

(2) 2018年度成果と課題

①成果

- ☆お客様の様子や声に耳を傾け、個々のお客様に応じた丁寧な接客ご案内ができた。
- ☆お客様の声を毎月の会議で報告し、改善できることから迅速に対応できた。
- ☆拾得物・遺失物の管理フローを整備し、全体で確認できた。
- ☆内部研修を通して、総務スタッフも宇宙や天文について学べた。

②課題

- ★若干、度を超えつつある常連のお客様への対応。
- ★内部研修の継続と、内容の検討。

10 管理業務

(1) ねらい

運営業務及び管理業務を円滑に行うために、各種事務及び経理を的確に行う。

(2) 2018年度成果と課題

①成果

- ☆前年度のEにリクガの結果において、減額ポイントに該当する事象の再発防止を共有することで、今年度は要求水準を満たすことができた。(3/12現在)

②課題

- ★煩雑な集計業務を誤り無く迅速に行えるよう、常に改善を心がけることが必要である。

11 修繕 1次対応業務

(1) ねらい

来館者の利用に支障が無いよう、各設備担当企業と不具合状況を共有し、施設・設備の不具合に対処する。

(2) 2018年度成果と課題

①成果

- ☆不具合報告フローが明確になったことで、不具合状況が共有されるようになった

②課題

- ★現場で対応可能な不具合の対応作業研修の実施

12 維持管理業務

(1) ねらい

市民の公共施設として、健全で安全な施設環境を提供し、賑わいの空間を維持し続ける。天文台の特殊性にあわせた維持管理計画を立案し、維持管理と運営の専門企業が一体となった事業運営を進め、単に施設を維持するだけでなく、ファシリティマネジメント(FM)による効率的な施設管理業務を実現する。

(2) 2018 年度成果と課題

①成果

☆年間の事業計画に基づき点検作業を実施した

②課題

★定期点検、日常点検でトラブルの発生を未然に防ぎ迅速に処理に処理することに努める。

13 ヘルプデスク業務

(1) ねらい

事業者による業務実施に関連し、業績監視および仙台市からの業務依頼事項処理の窓口としての業務を行う。

(2) 2018 年度成果と課題

①成果

☆滞りなく業務を進捗した。なお、今年度はヘルプデスク業務の棚卸を行い、システム的に属人化している業務のマニュアル化を進めてきた。

②課題

★どうしても職務上一人業務となってしまう為、成果ともリンクするが、会社としてヘルプデスク業務のミラー化を図り、急な事象で弊職が職務遂行出来ない場合（病気や怪我での入院等）が発生しても、滞り無く業務遂行出来る体制の強化を図っていかねばならない。